

勝幡駅前開発の状況は

質問

昨年の8月末までで、土地、家など合わせて63%ぐらいの契約が終っているとのことだが、21年度末を最終目的としているが、現在どこまで進んでいるか。

経済建設部長

昨年9月から今年の5月までに契約を済ませたところは土地3筆、建物2件、借家人1件である。

進捗率では、70%弱になる。未契約は、土地22筆、建物9件、借家人1件という状況。引き続き誠意を持って、対処していく。

質問

全部を取得した後、どこからどのように進めていく予定か。

図面では駅の南側にトイレがない。お年寄り、障害者には階段を使用して北側に行くのはきついので、ぜひトイレの設置をお願いしたいが。

経済建設部長

工事実施時期は、24・25年度と考えている。

まちづくり交付金の期間が最長で5年ということになっており、当市は、21年度より交付申請をしている。25年度までに完了する計画で進めた



近藤 健一 議員



開発が進む勝幡駅前

い。

関係機関との打ち合わせを行い、実施設計を委託し、設計書がまとまった後に工事を進めるため、現段階では詳細について決まっていない。

南側のトイレは建設費用、維持管理などの面から現在のところ考えていない。

防災訓練のあり方

質問

県では、伊勢湾台風50年として、いろいろと防災に関する行事、計画がなされているが当市として独自の事業計画はあるのか。また、災害時に、各地域に指導者・引率者がいれば、市として心強いと思うが。

市の中には防災リーダー、防災ボランティアコーディネーターの資格を取っている人が多くいる。この人々を中心に地域の防災をとおえるが。

総務部長

今年2月22日に、伊勢湾台風50年にさきかけて「水害被災地に学ぶ」と題して、講師を招いて水害地の研修を行った。

6月7日の海部防災訓練、8月30日に全市を対象に佐織総合グラウンドで防災訓練を行う。

各消防団には舟艇も配置され、組み立て訓練も訓練種目の一つとして検討する。また家具の転倒防止の展示、災害パネルの展示もしたい。

市内には防災リーダー18名、コーディネーター71名が受講している。

自主防災会、市の防災行事、防災訓練などにリーダーシップをとってもらえるのが望ましい姿であると思っている。

その他の質問

○期日前投票について